

「北海道信金」3信金の合併認可

北海道財務局は18日、来年1月1日に合併して「北海道信用金庫」となる札幌信用金庫(札幌)、北海道信用金庫(後志管内余市町)、小樽信用金庫(小樽)に合併認可書を交付した。道内の信金で初の預金量1兆円



北海道財務局の高秀樹局長(右端)から合併認可書を受け取る札幌信金の吉本淳一会長

を超える信金が誕生する。

札幌信金の吉本淳一会長と前田繁利理事長、北海道信金の西田寛理事長、小樽信金の佐林史明理事長が、札幌市北区の財務局で高秀樹局長から合併認可書を受け取った。

9月末現在の3信金合わせた預金量は1兆1244億円、貸出金は5781億円。現在、道内に信金は22あるが合併で20になる。

吉本会長は、交付後の記者会見で「合併後は預金量1兆1千億円を超える信用金庫になる。これを最大限有効活用して、道央圏の地域経済活性化、地方創生に貢献していきたい」と意気込みを語った。

「北海道信金」の会長、

理事長は札幌信金の吉本会長、前田理事長がそれぞれ務め、北海道信金の西田理事長は副理事長、小樽信金の

佐林理事長は専務理事に就任する。4人とも代表権を持つ。1月1日に開く理事会で正式決定する。

※ 吉本淳一氏は本学OB